

第3回論文執筆研修のお知らせ

日時:7月3日(日)~7月7日(木)

場所:筑波大学総合研究B棟7階728、712室および7階ピロティ

主催:科研費新学術A「福島原発事故により放出された放射性核種の環境動態に関する学際的研究」A01-2班

スケジュール:基本は論文執筆ですが以下のイベントがあります

7月3日(日) 14:00~ 学生による研究発表
参加者によるアドバイス、議論
18:00~ 懇親会

7月5日(火) 14:00~15:00 場所:1階110公開講義室
講演「研究の企画の立て方と、論文の書き方」
産総研・中田亨先生

よい研究とは何でしょうか? 行うに値する実験とはなんのでしょうか? 論文は何をどう書けばいいのでしょうか? それは難問のように思えますが、実は答えは単純なものです。「良い研究とは、たとえ適用範囲は小さくとも、特定の問題を完全に解決するものである。」「勝算を得てから実験せよ。」「論文は、何の問題をなぜ解くか、どう解くのがよいか、証拠を示せるのか、の3つを書く。」「ポリシーに基づいたしっかりとした企画があれば、研究は成功します。本講演ではこれら研究の勘所をご紹介します。

7月7日(木) 13:00~ 学生による報告会
中田先生は講談社ブルーバックス「理系のための即効! 卒業論文術」のほか多数の著書をお持ちです。どうぞお越しを!

申込締切:6月13日(月)
hatano@risk.tsukuba.ac.jpまで
※大学会館に宿泊希望の方は申込時にお知らせください



世話人:筑波大学アイソトープ環境
動態研究センター/リスク工学専攻
羽田野祐子(029-853-5260)

筑波大学循環バス「第1エリア前」すぐ前